

## 【労働災害防止活動支援ツールのご案内（4月1日から運用開始！）】 「陸災防労働災害事例生成ツール」のご案内



陸災防では、自社の作業環境や災害事例等を容易に取り込み、安全教育用の素材として生成できる「陸災防労働災害事例生成ツール」（使用料無料）を開発しました。

本ツールは、職場の安全教育における災害事例、リスクアセスメントシート等として、幅広く活用することができます。

本ツールには、陸災防ホームページのトップページ又は「安全衛生管理・対策」内にある「陸災防労働災害事例生成ツール」のリンクからアクセスできます。

本ツールは令和3年4月1日より運用を開始しますが、利用には事前登録が必要です。登録受付を3月29日以降開始します。

なお、3月中旬より、当協会本部ホームページにて、本ツールのPR動画及び取扱説明書がご覧いただけますのでご活用ください。（お問い合わせ先：陸災防技術管理部 TEL 03-3455-3857）

### 【登録方法について】

最初にアカウントを登録してください。新規のアカウント登録は、ログイン画面右下の「アカウントの登録依頼はこちら」にアクセスし、登録事項をコピー&ペーストし全ての項目を記入した上で、メールを送信してください。

3月29日以降のメール送信の宛先：[saigai-jirei.registration@rikusai.or.jp](mailto:saigai-jirei.registration@rikusai.or.jp)

陸災防での登録後、後ほど、登録完了のメールが届きます。登録したログインID、パスワードでログインしてください。

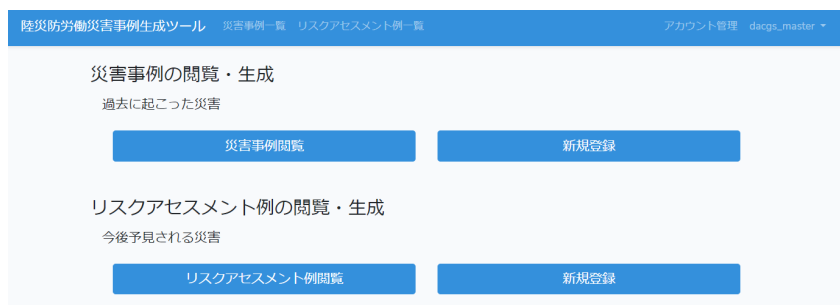
### 【陸災防労働災害事例生成ツールの機能について】

この災害事例生成ツールは、

- (1) 過去に起こった災害の「災害事例閲覧※」「新規登録」
- (2) 今後予見される災害の「リスクアセスメント例閲覧※」「新規登録」

に分かれています。

※当協会の会員（賛助会員含む）は、共有化された「災害事例」、「リスクアセスメント例」の閲覧が可能です。非会員は、自ら作成、登録した事例のみ閲覧可能です。



### 【災害事例閲覧画面】

登録番号	発生日付 ▼	事例タイトル	登録者(氏名)	作業場所	作業内容	起因物
9	2020/10/21	蛍光灯の入れ替え作業中、脚立から転落 <small>共有</small>	木下健太郎	構内 - 自社 - 屋内 - その他	その他作業 - 事務作業	脚立
12	2020/10/14	倒れたロールボックスパレットに扶まり負傷 <small>共有</small>	木下健太郎	構内 - 発荷主 - 屋内 - 倉庫	荷役作業 - ロールボックスパレット(カゴ車)を引く	ロールボックスパレット
28	2020/08/13	トラック(粉粒体運搬車)のタンク上から墜落 <small>共有</small>	田畑 裕司	構内 - 発荷主 - 屋内 - その他	荷役作業 - 荷の積み込み中	トラック
6	2020/04/16	育苗運搬用台車の飛来落下による災害 <small>共有</small>	中尾 陽	構内 - 発荷主 - 屋外 - 通路	荷役作業 - 荷の取卸し中	育苗運搬用台車(苗搭載)

災害事例閲覧画面では、災害事例ごとに事例タイトル、作業場所、作業内容、起因物を一覧で見ることができ、事例タイトルをクリックすると、災害事例の内容を確認することができます。

## 【災害事例の内容画面】

倒れたロールボックスパレットに挟まり負傷 共有

事例再現 印刷 編集 削除

登録者(氏名): 木下健太郎

災害の発生日時	2020/10/14 18:00
作業場所	構内 - 発荷主 - 屋内 - 倉庫
作業内容	荷役作業 - ロールボックスパレット (カゴ車) を引く
事故の型	はさまれ巻き込まれ
災害の起因物	ロールボックスパレット
被災の程度 (見込みを含む)	倒れたロールボックス (300kg) の下敷きとなり、手と膝の骨折。休業2か月の重傷。

### 災害の発生状況

トラックからロールボックスパレット (RBP) の荷を卸し、倉庫の所定の場所に移動していたところ、RBPのキャスターが段差につまづき、転倒。被災者がその下敷きとなったもの。

### 災害の原因

通行経路に段差があることを把握していなかったこと。  
引き作業で、段差に気づけなかったこと。

### 再発防止対策

通行経路を確認し、段差を避ける通行経路を確保する。  
どうしても段差の通行が発生する場合は、段差を緩和する措置をとること。また、荷物で見通しが悪い場合は、RBPを押して通行する等、作業方法を見直すこと。

### 正しい作業手順の流れ

- ① 保護具の着用 (保護帽、手袋、脛当て)
- ② 事前の通行経路の確認、決定
- ③ 引き、押し作業の決定
- ④ ②③の決定に基づいた作業、指差呼称、安全確認の徹底

災害の発生状況、原因、再発防止対策、正しい手順の流れの各コンテンツ毎に、画像を貼付することができます。

なお、これらの画像は、各コンテンツ毎に複数枚登録することにより、パソコン上ではアニメーションとして動的に表現することが可能です。



(1)災害の再現 (災害の発生状況)



(2)災害の原因



(3)再発防止対策

- 1 段差や傾斜がある場所では取り扱いません
- 2 作業服や作業靴・保護具を正しく身につけます
- 3 遵守事項・注意事項・禁止事項を守ります
- 4 「押し」「引き」「よこ押し」で作業します
- 5 複数人での取り扱いには慎重に行います
- 6 基本的な積み方をマスターし、荷崩れを防ぎます
- 7 折りたたむと不安定になるので転倒に注意します
- 8 テールゲートリフターの昇降時は特に注意します

(4)正しい手順の流れ

災害事例を社内研修の資料とする場合、紙媒体と映像での出力が可能です。

紙媒体では、前頁で説明した災害事例の内容画面がA4サイズで出力されます。画像は、内容画面の次ページ以降に印刷されます。(1ページ6枚まで)

映像では、コンテンツを四分割して、各コンテンツの説明をしながら進むことが可能です。

画像が複数枚登録されていれば、画像下の「自動で画像を切り替える」ボタンにチェックをいれることで、動的に画像が再生されます。

### 災害の発生状況画面



災害の発生状況

トラックからロールボックスパレット (RBP) の荷を卸し、倉庫の所定の場所に移載していたところ、RBPのキャスターが段差につまづき、転倒。被災者がその下敷きとなったもの。

前へ

次へ

一覧に戻る 概要に戻る

### 災害の原因画面

災害事例

倒れたロールボックスパレットに挟まり負傷 **共有**

前へ

次へ



災害の原因

通行経路に段差があることを把握していなかったこと、引き作業で、段差に気づけなかったこと。

一覧に戻る 概要に戻る

### 再発防止対策画面

倒れたロールボックスパレットに挟まり負傷 **共有**

前へ

次へ



障害物を除去する

再発防止対策

通行経路を確認し、段差を避ける通行経路を確保する。どうしても段差の通行が発生する場合は、段差を緩和する措置を取る。また、荷物で見通しが悪い場合は、RBPを押して通行する等、作業方法を見直すこと。

一覧に戻る 概要に戻る

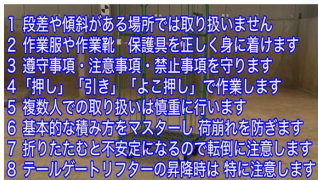
### 正しい作業手順の流れ画面

災害事例

倒れたロールボックスパレットに挟まり負傷 **共有**

前へ

次へ



正しい作業手順の流れ

- ① 保護具の着用 (保護帽、手袋、足当て)
- ② 事前の通行経路の確認、決定
- ③ 引き、押し作業の決定
- ④ ②③の決定に基づいた作業、指差呼称、安全確認の徹底


一覧に戻る 概要に戻る

## 【新規登録について（災害事例）】

災害事例の新規登録は、掲載されている事例を参考に、必要事項を記入してください。

### 災害事例登録 - 文章の登録

文章の登録 > 発生状況コンテンツ登録 > 災害の原因コンテンツ登録 > 再発防止対策コンテンツ登録 > 作業手順コンテンツ登録

事例タイトル <b>必須</b>	事例のタイトルを全角で35字以内で記入してください
	<input type="text"/>
登録者(氏名) <b>必須</b>	<input type="text"/>
災害の発生日時 <b>必須</b>	アイコンをクリックして日時を選択してください 
作業場所 <b>必須</b>	<input type="text"/>

画像の登録は、災害の発生状況、原因、再発防止対策、正しい手順の4つのコンテンツそれぞれに入力します。画像の登録は必須ではありません。

登録しない場合は、「次へ」ボタンで進んでください（完了ボタンまで）。

画像は1コンテンツにつき、最大6枚まで登録可能です。

### 災害事例編集 - 発生状況コンテンツ登録

文章の登録 > **発生状況コンテンツ登録** > 災害の原因コンテンツ登録 > 再発防止対策コンテンツ登録 > 作業手順コンテンツ登録

画像の登録を行う

登録可能な画像ファイルは10MB以下のjpeg, png, gifファイルです  
画像を変更する場合はファイルを指定してください  
※ファイルの変更がない場合はそのまま進めてください

画像ファイル

1 変更する場合はファイルを指定してください [参照](#)



[画像を編集する](#)

2 変更する場合はファイルを指定してください [参照](#)



[画像を編集する](#)

また、登録した画像にはご自身で用意された視覚効果作用のエフェクトや音声を登録することができます。（映像出力時のみ有効）

エフェクト画像を自分で用意する

登録可能なエフェクト画像ファイルは10MB以下のgif, pngファイルです  
画像を変更する場合はファイルを指定してください  
※ファイルの変更がない場合はそのまま進めてください

エフェクト画像ファイル

[参照](#)

音声の登録を行う

登録可能な音声ファイルは10MB以下のmp3, m4aオーディオファイルです  
音声を変更する場合はファイルを指定してください  
※ファイルの変更がない場合はそのまま進めてください

音声ファイル

[参照](#)

## 【新規登録について（リスクアセスメント）】

災害を未然に防ぐために、危険予知、リスクアセスメントは有効な手法です。陸災防災事例生成ツールは、未然防止の観点からも活用することができます。

入力、画像登録方法は、災害事例の登録と同様です。災害事例では「実際に起こった災害」となりますが、リスクアセスメントでは「起こりうる災害」を想定して、記載してください。

### リスクアセスメント例

建物の曲がり角で、フォークリフトと人・台車が接触する [共有](#)

[事例再現](#) [印刷](#) [編集](#) [削除](#)

登録者(氏名): 木下健太郎

作業場所	構内 - 自社 - 屋内 - 通路
作業内容	荷役作業 - フォークリフト前進中（積荷）
事故の型	激突され
災害の起因物	フォークリフト
被災の程度（見込みを含む）	フォークリフトと人・台車等が接触するおそれがある

### 起こりうる災害

フォークリフトと人・台車が接触することにより、人は負傷し、フォークリフト及び台車の荷物が破損する。

### 起こりうる災害の原因

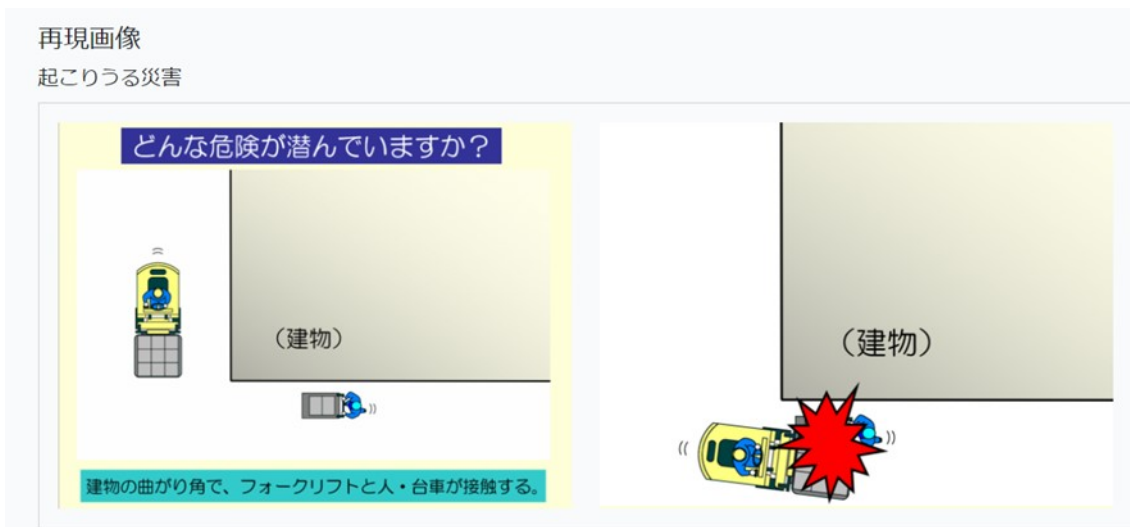
建物の角で、左折してくるフォークリフトからは陰になって良く見えない。  
人と機械の動線が同一であること

### リスクの低減対策

フォークリフトの運行経路を一方通行などに変更する（左折禁止）または、人や台車の通路を建物の中に変更する  
建物の曲がり角にガードレールを設置し、かつ、台車通行時は表示灯や警告音を発する

### 正しい作業手順の流れ

作業計画の確認、計画に基づいた荷役運搬作業を実施する。



「陸災防災事例生成ツール」が、社員教育の場等で大いに活用され、災害が一件でも減少することを心より祈念しています。